

## 第9編

### 調査現場写真集

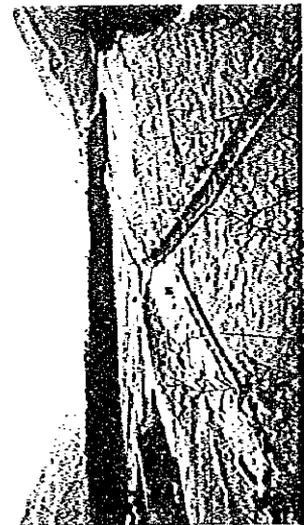
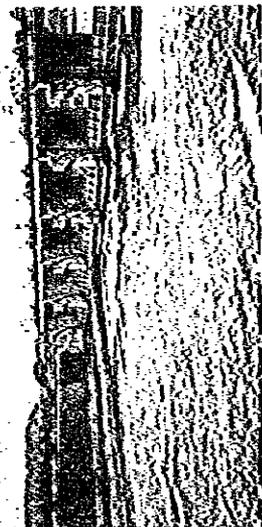
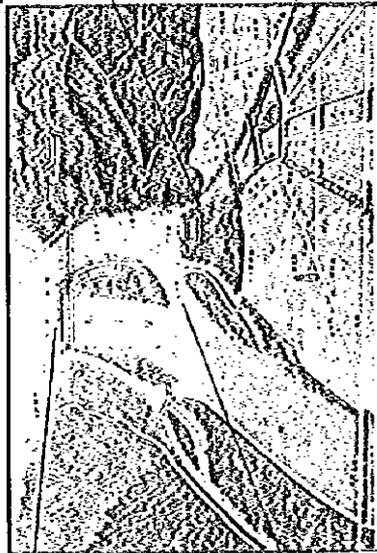
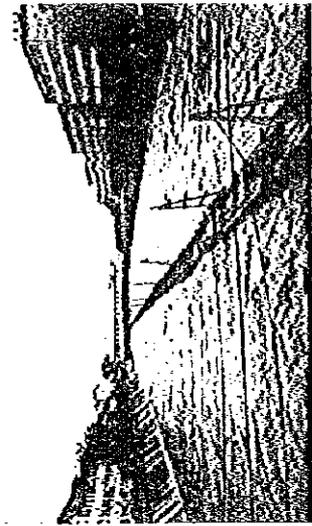
## 岷江成都地区水環境総合管理計画調査

## 最終報告書(案)

## 第9編 現場写真集

## 目次

1	都江堰およびその周辺	9-1
2	調査対象地域内河川現況(1/5)	9-2
3	調査対象地域内河川現況(2/5)	9-3
4	調査対象地域内河川現況(3/5)	9-4
5	調査対象地域内河川現況(4/5)	9-5
6	調査対象地域内河川現況(5/5)	9-6
7	多自然型護岸試験施工地(施工前)	9-7
8	多自然型護岸試験施工進捗状況	9-8
9	河川水質現況(1/2)	9-9
10	河川水質現況(2/2)	9-10
11	三瓦窰污水处理場および獅子山污水处理場	9-11
12	水質自動モニタリングシステム観測局(1/2)	9-12
13	水質自動モニタリングシステム観測局 および烏龜碑污水处理場建設予定(2/2)	9-13
14	工場排水状況(1/4)	9-14
15	工場排水状況(2/4)	9-15
16	工場排水状況(3/4)	9-16
17	工場排水状況(4/4)	9-17
18	魚類捕獲調査(1/2)	9-18
19	魚類捕獲調査(2/2)	9-19



都江堰及びその周辺

中華人民共和国  
岷江成都地区水環境総合管理計画調査  
国際協力事業団

調査現場写真集  
都江堰およびその周辺



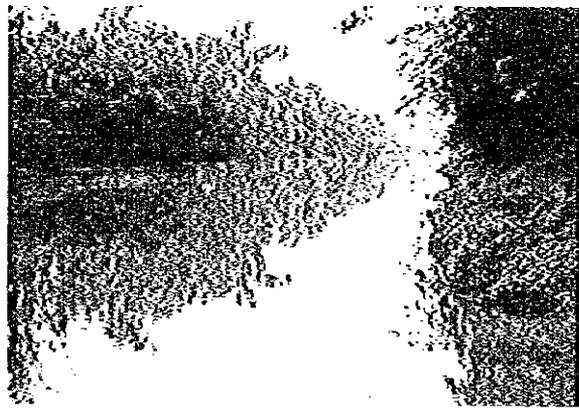
府河（猛追湾付近）



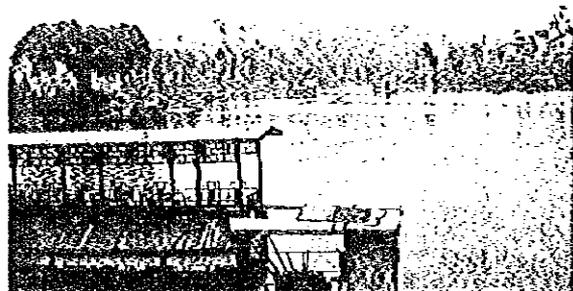
沙河上流コンクリート護岸



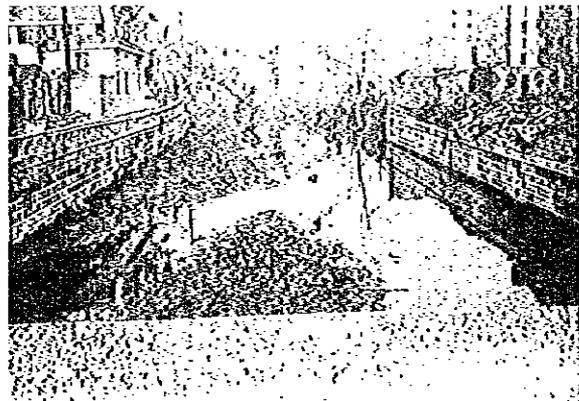
府河下流（双流埠）



沙河（塔子山公園付近）



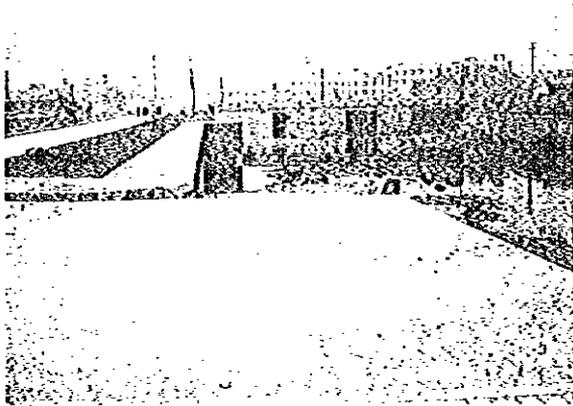
府河下流（双流渠黄鹳溪）



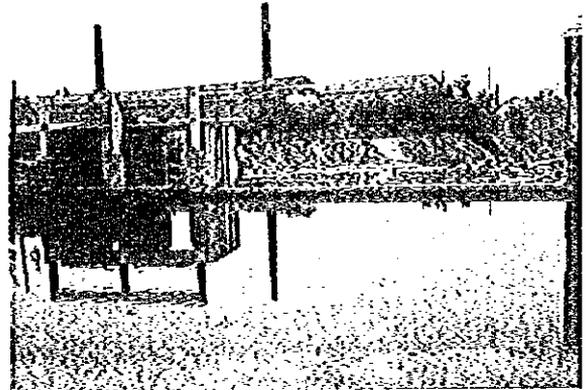
成都中小都市河川

中華人民共和国  
岷江成都地区水環境総合管理計画調査  
国際協力事業団

調査現場写真集  
調査対象地域内河川現況（1/5）



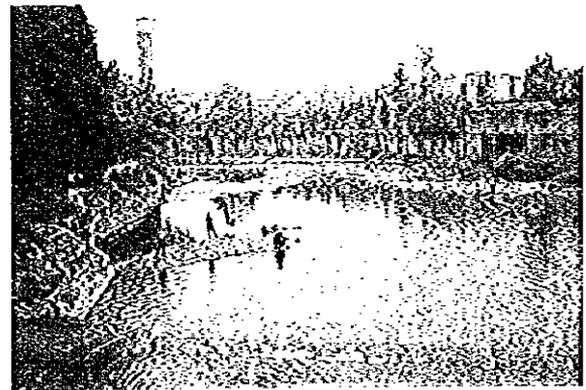
南河（百花潭公園下流）



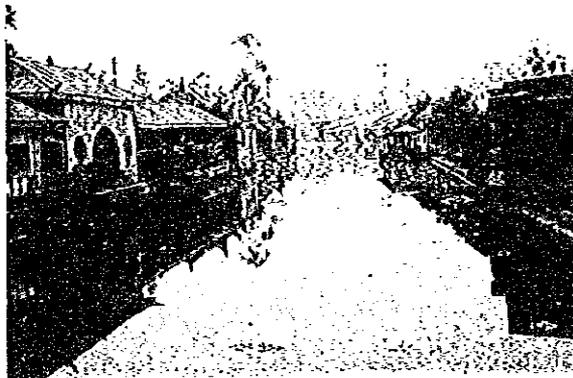
清水河（南河水系）



干河（南河水系）



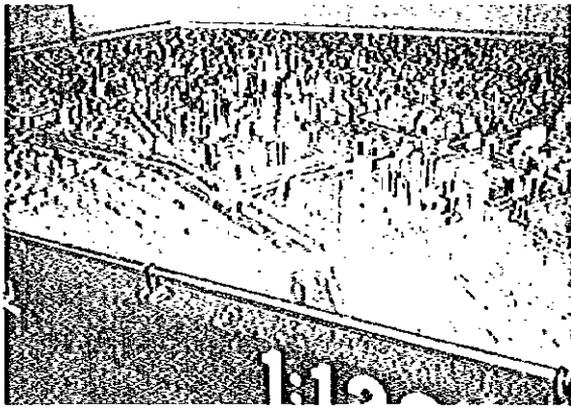
清水河（南河水系）



浣花溪下流（南河水系）



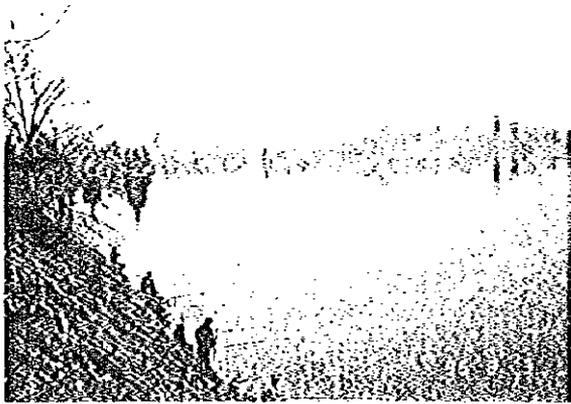
南河ラバー堰（新南門大橋付近）



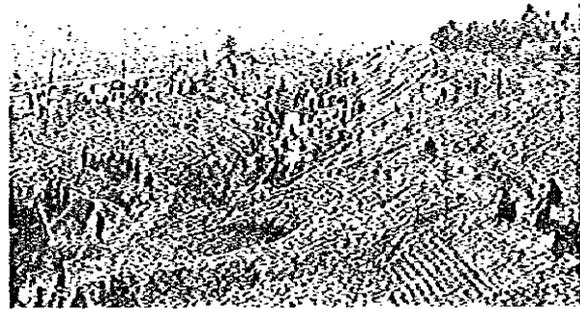
府南河綜合整頓計劃（模型河構想模型）



全馬河（青城大橋下流）



府河右岸支流



全馬河（護岸工事現場）



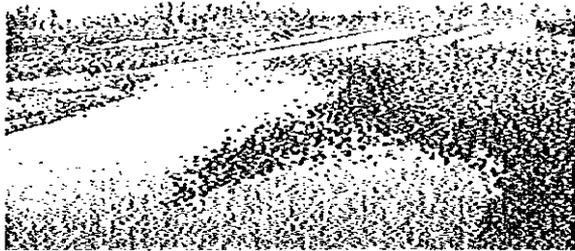
府河右岸支流



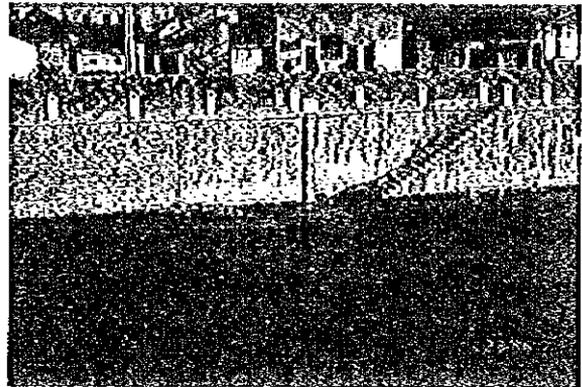
全馬河（中流区間）

中華人民共和國  
 岷江成都地區水環境綜合管理計劃調查  
 國際協力事業團

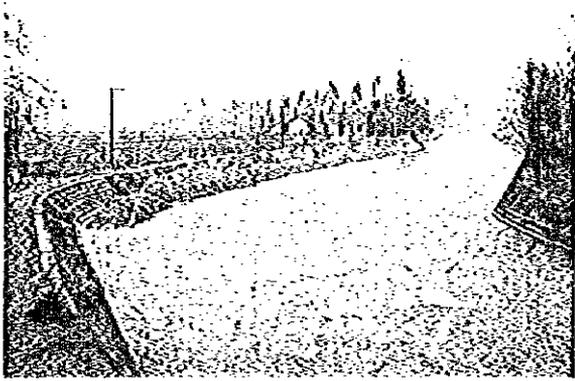
調查現場写真集  
 調查対象地域内河川現況（3/5）



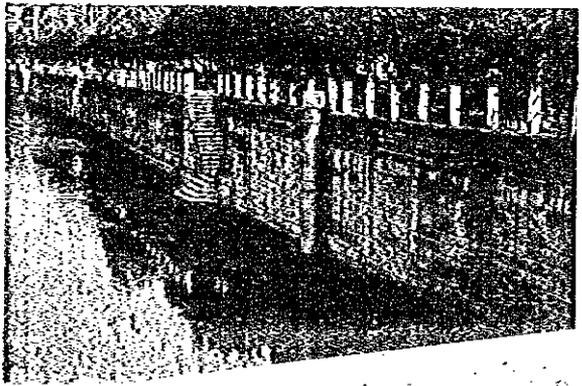
柏条河（石堤堰付近）



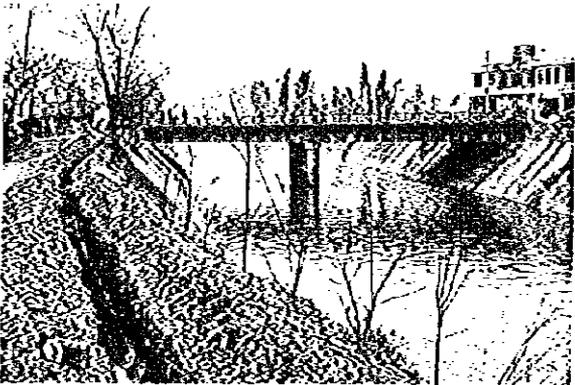
府河水位計設置地点



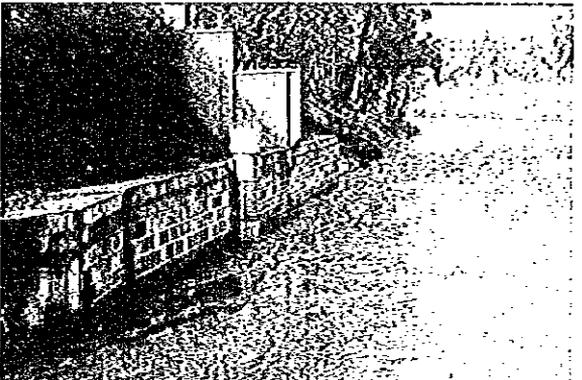
徐堰河（走馬ゲート下流）



南河水位計設置地点



人民渠（渠首下流）



沙河水位計設置地点

中華人民共和国  
岷江成都地区水環境総合管理計画調査  
国際協力事業団

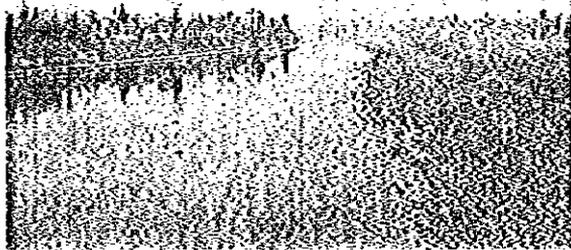
調査現場写真集  
調査対象地域内河川現況（4/5）



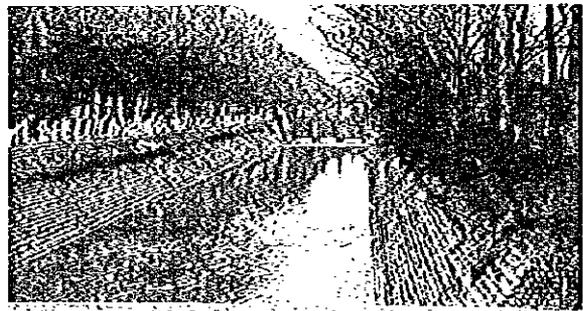
岷江（紫坪鋪ダムサイト）



江安河（双流）



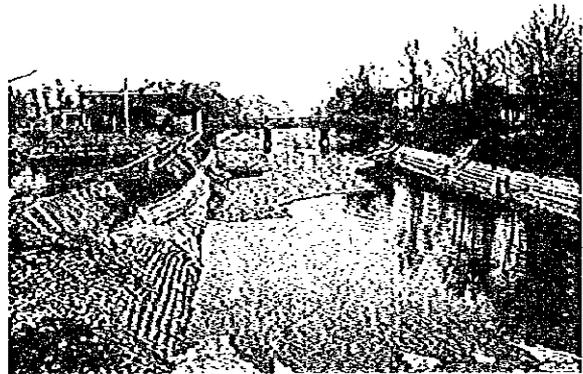
黒石河（柳橋付近）



楊柳河（温江付近）



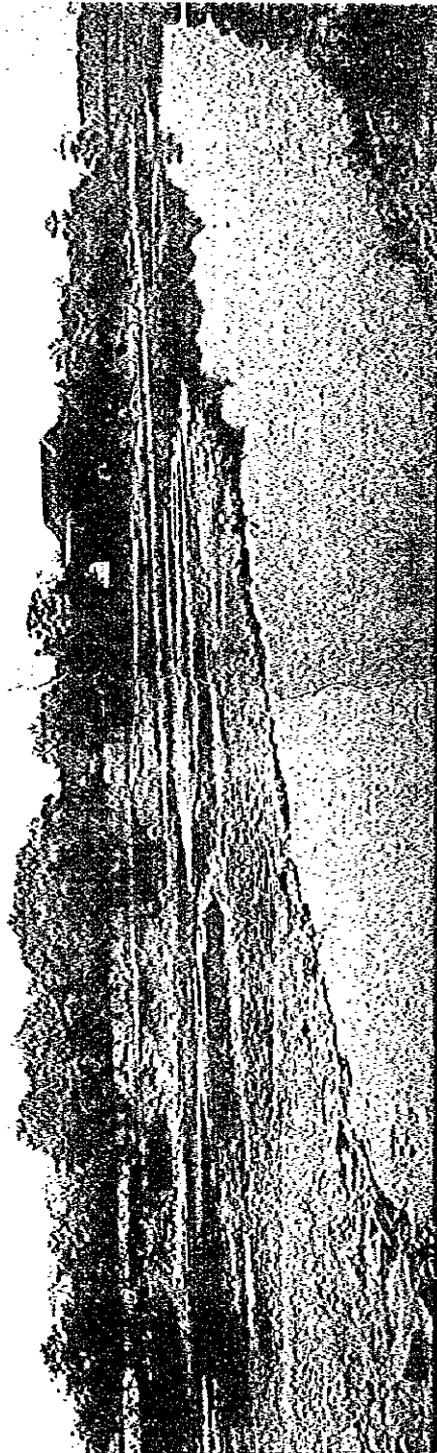
沙溝河（元通鎮付近）



走馬河（沱江ゲート下流）

中華人民共和国  
岷江成都地区水環境総合管理計画調査  
国際協力事業団

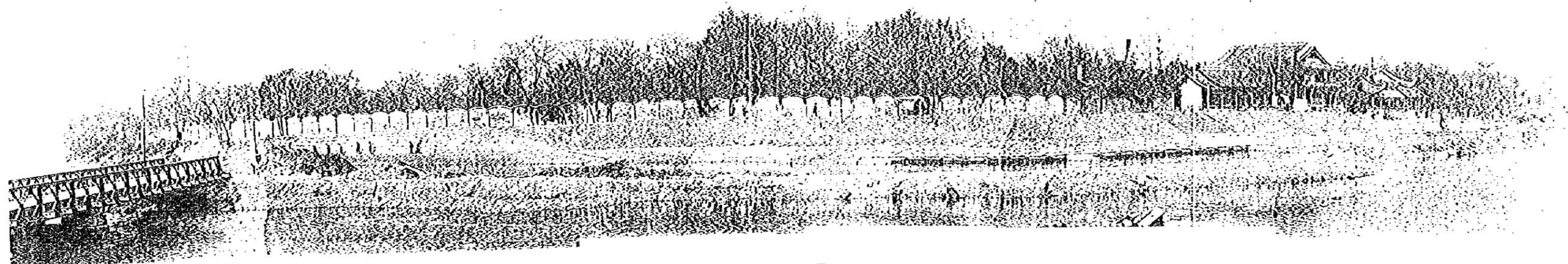
調査現場写真集  
調査対象地域内河川現況（5/5）



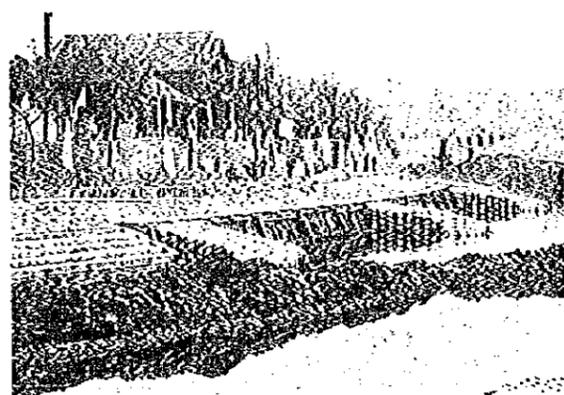
多自然型護岸試驗施工地（岷江右岸江蘇地塊）  
（攝錄施工前）

中華人民共和國  
岷江成都地區水環境綜合管理計畫調查  
國際協力事業團

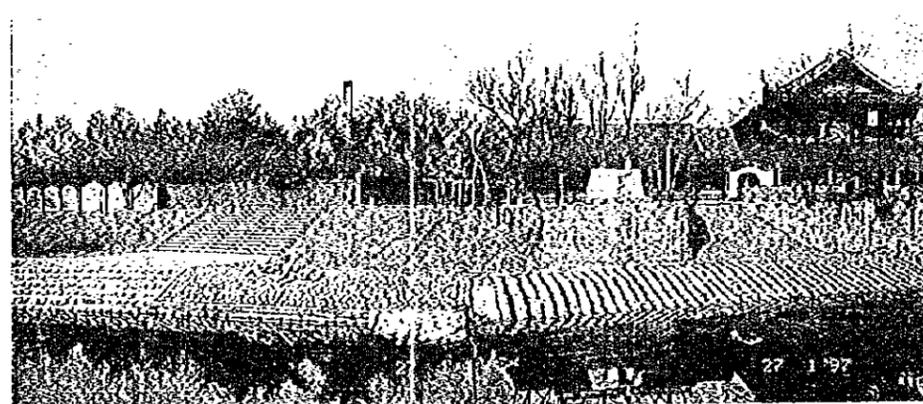
調查現場写真集  
多自然型護岸試驗施工地（施工前）



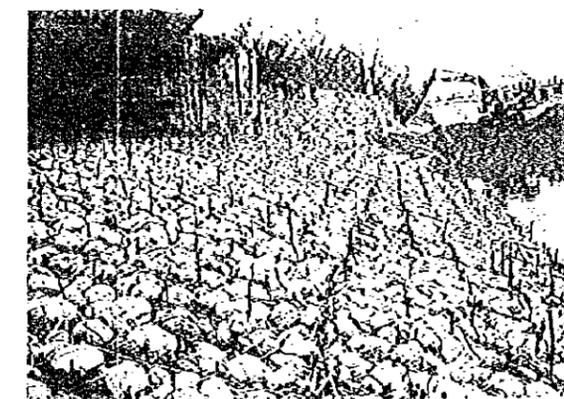
試験施工現場全景



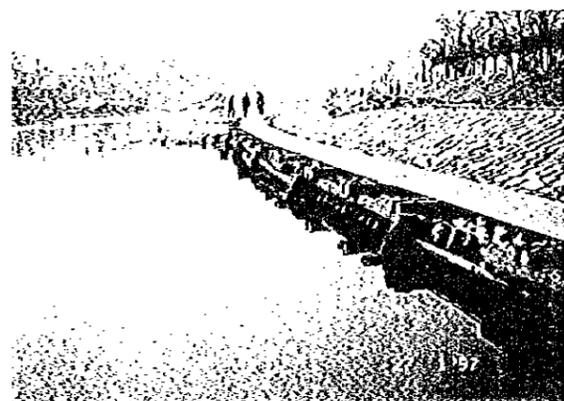
片法枠工および水制工遠景



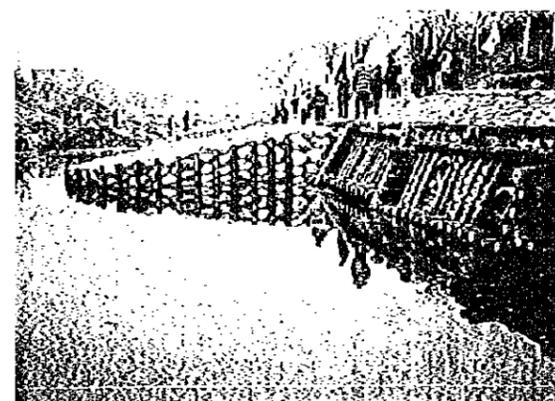
蛇籠護岸、空石張護岸、水制、階段護岸、木杭階段工、堤防、石碑遠景



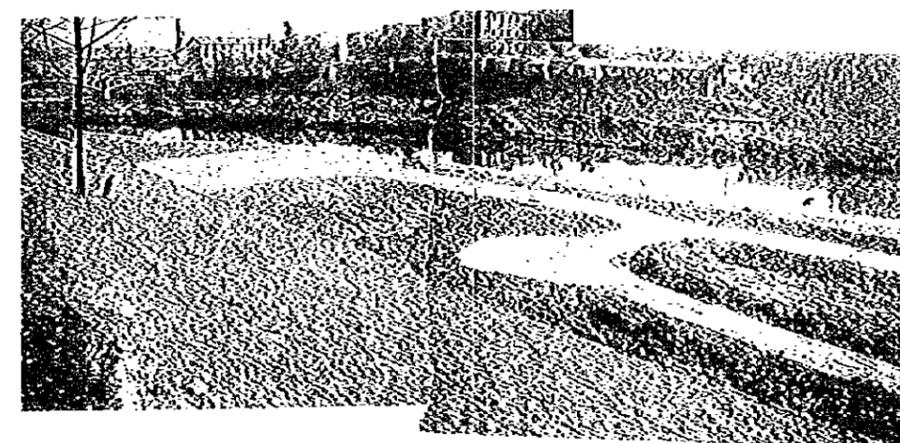
蛇籠護岸(柳枝工)



片法枠工、上部テラスおよび空石張護岸

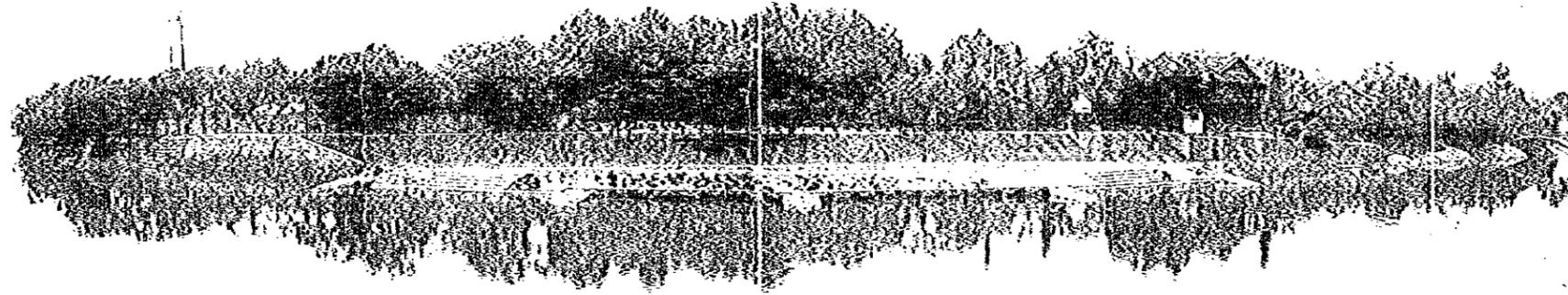


片法枠工および水制工近景

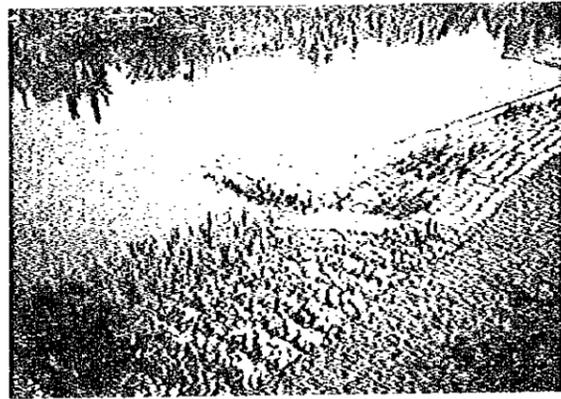


高水敷遊歩道

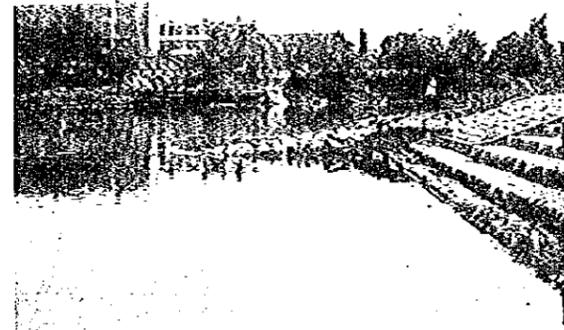
岷江成都地区水環境総合管理計画調査 多自然型護岸試験施工竣工状況



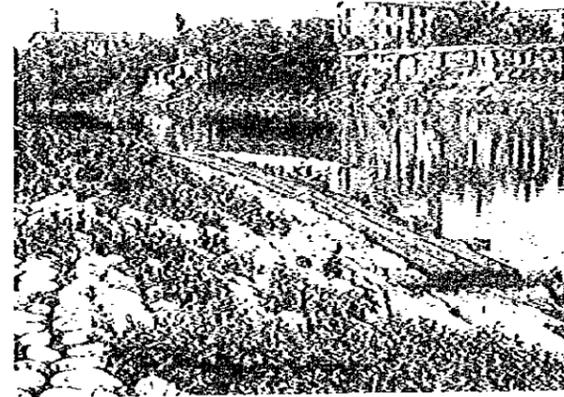
試験施工現場全景



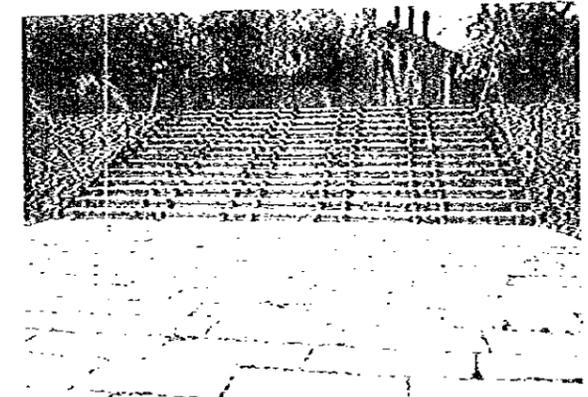
蛇籠護岸、水制工および空石張護岸



水制工および階段護岸



空石張護岸および片法枠工上部テラス



木杭階段工



蛇籠護岸柳枝工および空石張護岸



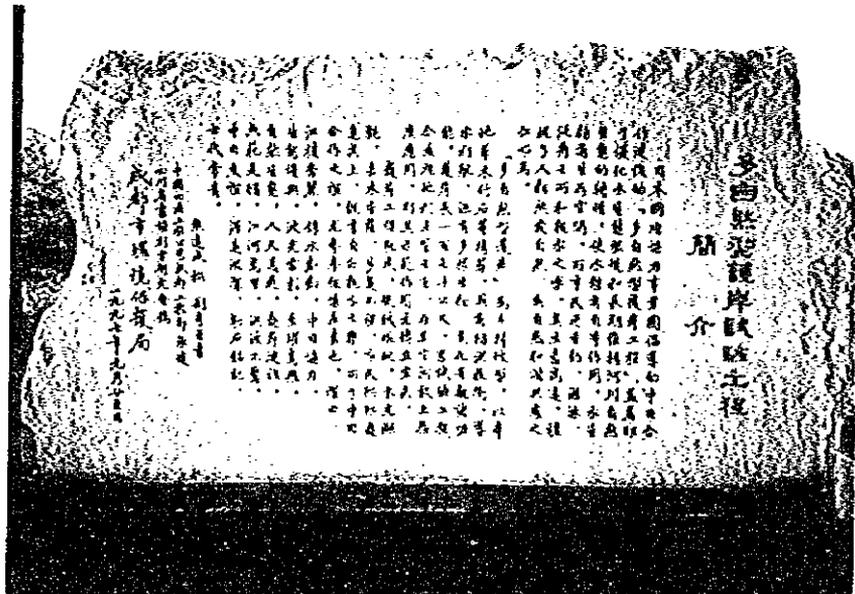
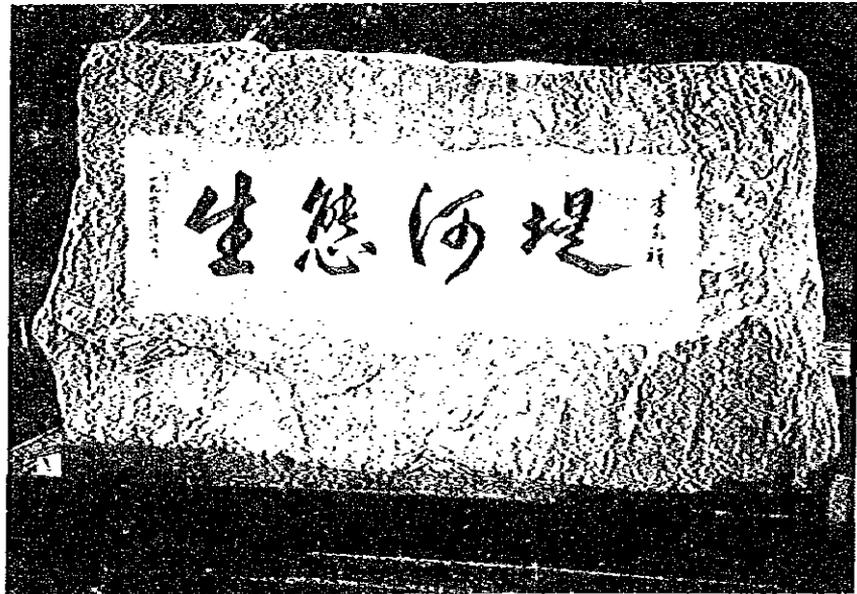
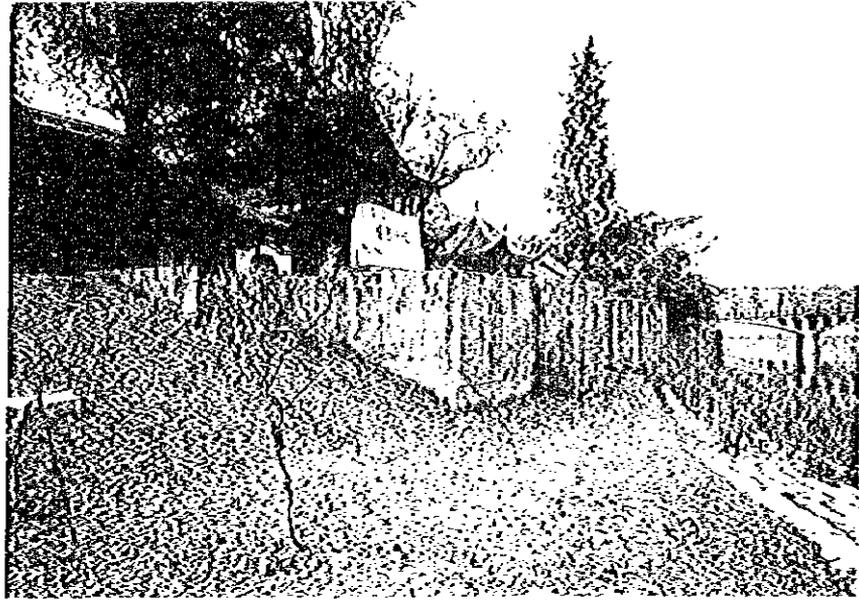
堤防天端遊歩道



高水敷遊歩道



高水敷遊歩道および空石張護岸



# 多自然型護岸試験施工竣工記念石碑

<碑文>

## 多自然型護岸試験施工

日本国際協力事業団の提唱によって中日が協力し、建設した「多自然型護岸試験施工」は水生環境の改善と河川の自然生態の保全という特徴をもち、水に自浄作用をもたせ、水生生物にはその生息空間を、また、市民には釣、水泳、舟遊びの場と水とのふれあいの楽しみを提供するものである。その構想は人類の自然を愛する心と自然との調和共存を表している。

「多自然型護岸試験施工」は斜面が多く、現地の草、木、竹、石による構造となっている。洪水防御、取水、舟運、多様な生物の生息、景観の美化といった機能を持っている。護岸の長さは170 mで、試験施工である。今後、地形と土質が適している他の区間において応用すれば、そのモデルとしての役割が広がってくる。

護岸工事は完成した。護岸の線は曲線を描き、水の光も美しく、木々はその陰を垂れ、遊歩道が続いている。市民はここで憩い、自然とのふれあいを楽しみ、そして中日協力の友情に思いを馳せることであろう。

望江楼が華麗にそびえ、錦の水が豊かに流れ、  
中日の協力で生物が堤に生きる。  
波が光り、雲が陰を落とし、魚が踊り、鳶が舞い、  
人にも天にも適する自然の生態となる。  
護岸の建設は模範となり、万里の河川に広がり、  
洪水も恐れることはない。  
中日の友好は長く、深く石に刻まれ、  
後世に変わることなく伝えられる。

熊運成 撰 劉奇晋 書

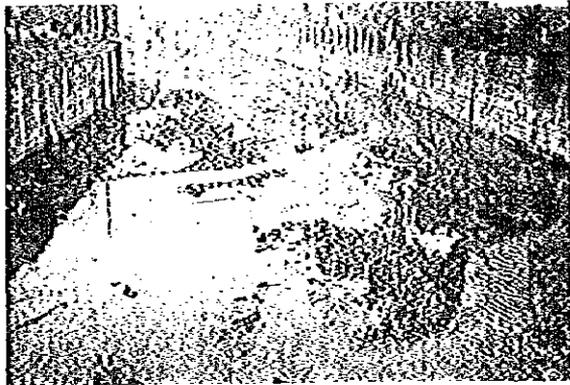
中国四海工程公司成都工程部建立

四川省書協刻字研究会刻

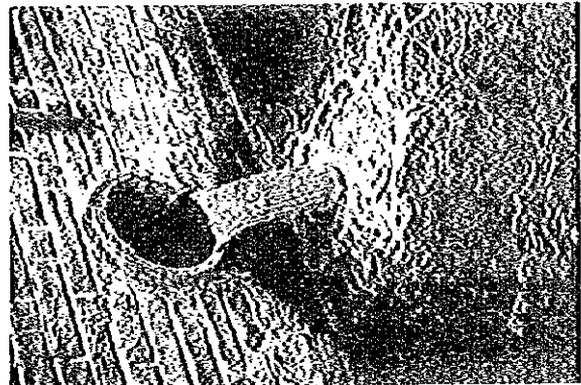
成都市環境保護局

一九九七年一月廿五日

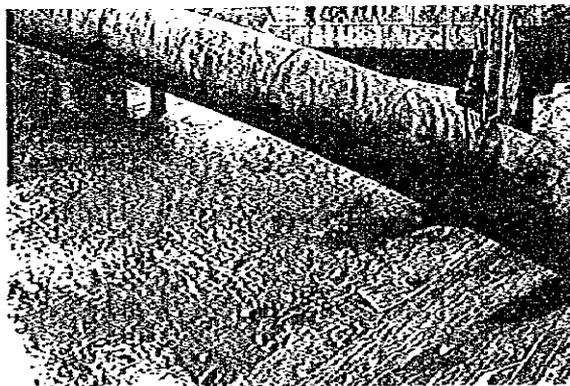




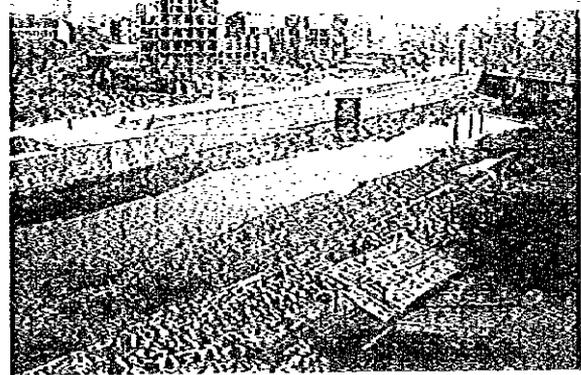
洪水期における百花大橋地点の南河



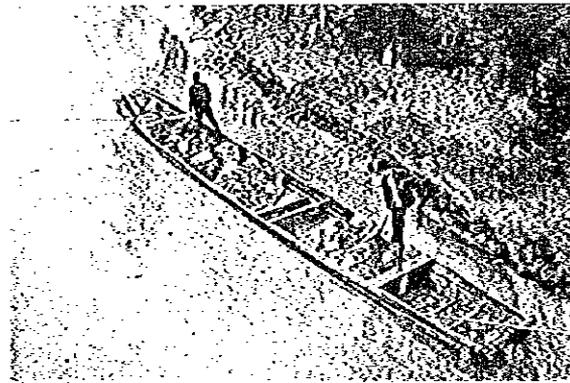
生活排水が横流入として直接南河へ流れ込む



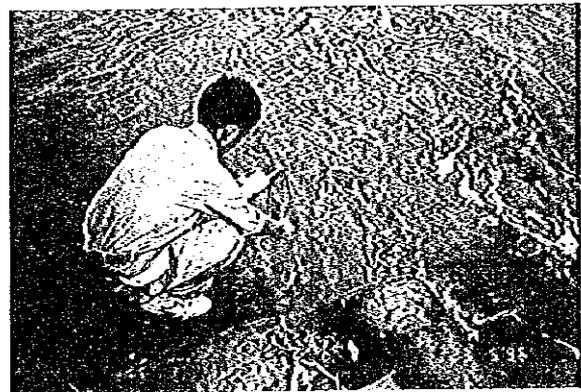
火力発電所のフライアッシュを多量に含む沙河（王桂橋付近）



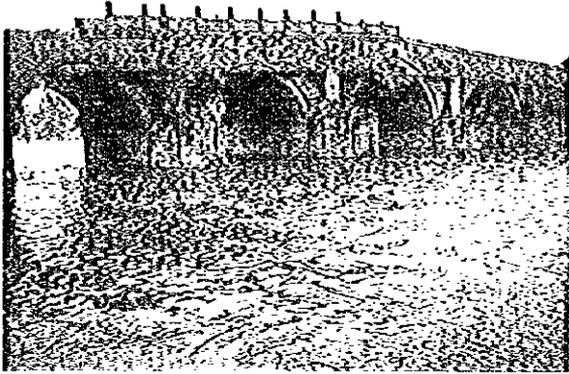
環保大橋付近の南河



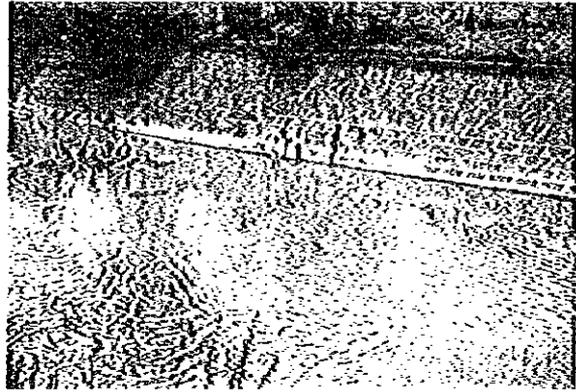
河床に堆積したフライアッシュを採取する住民（王桂橋付近）



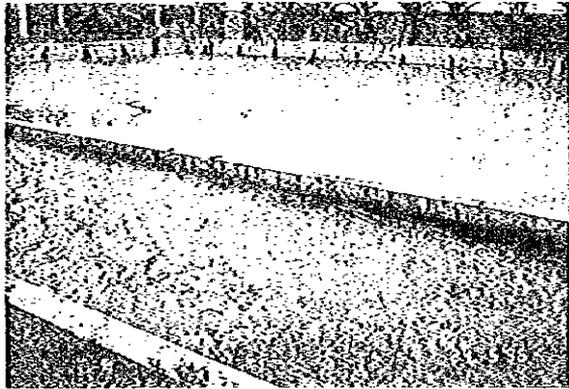
府河における水質検査



華陽鎮地点の府河



南河で水遊びをする子供達



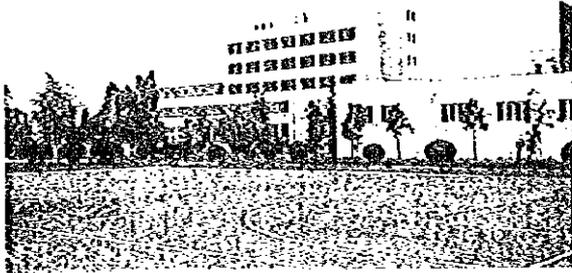
箕靜場の沈殿池



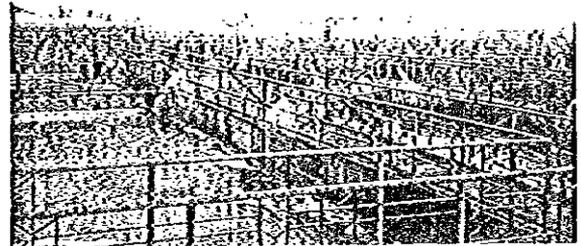
永安大橋付近の府河

中華人民共和国  
岷江成都地区水環境総合管理計画調査  
国際協力事業団

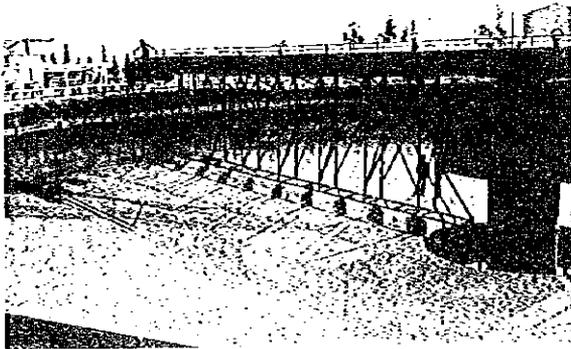
調査現場写真集  
河川水質現況 (2/2)



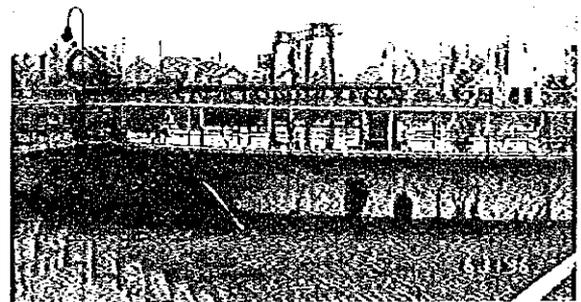
三瓦窑一期污水处理场管理棟



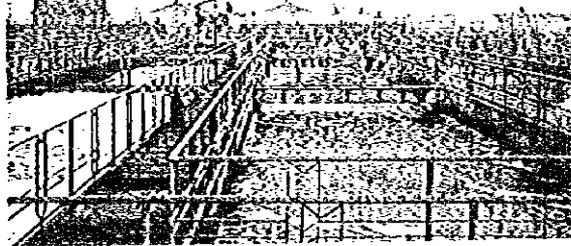
三瓦窑一期污水处理场曝气池



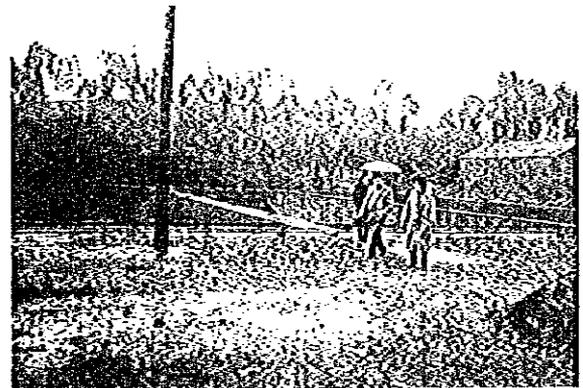
三瓦窑一期污水处理场最初沈殿池



三瓦窑一期污水处理场最終沈殿池



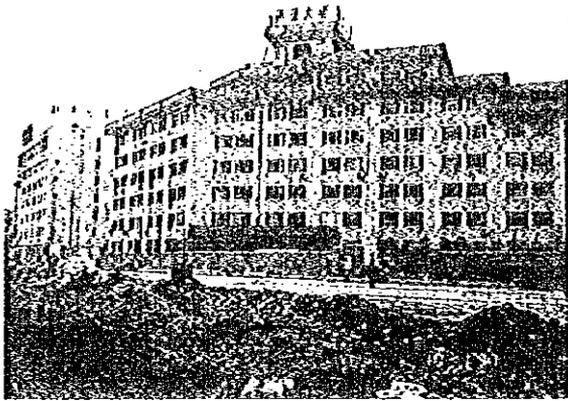
三瓦窑一期污水处理场曝气池



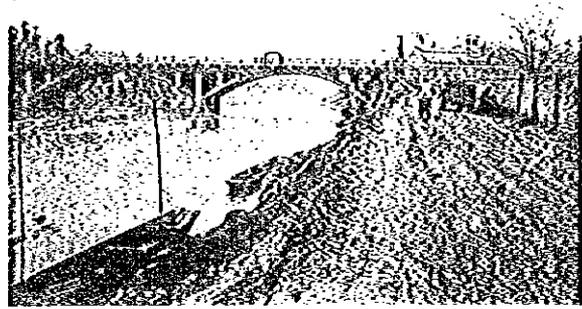
獅子山污水处理場沈殿池

中華人民共和國  
 岷江成都地区水環境綜合管理計畫調查  
 國際協力事業團

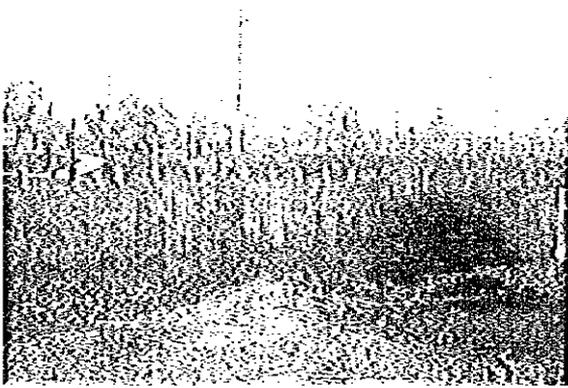
調査現場写真集  
 三瓦窑污水处理場および獅子山污水处理場



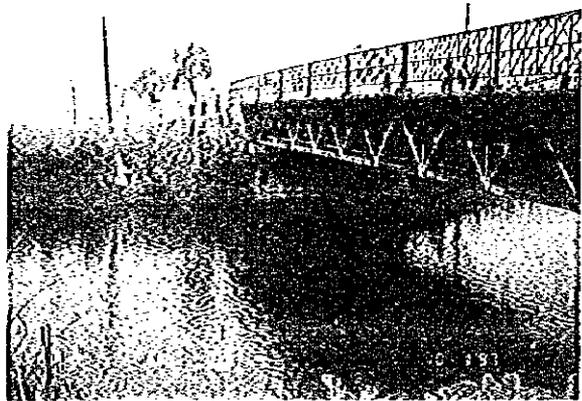
環保大樓



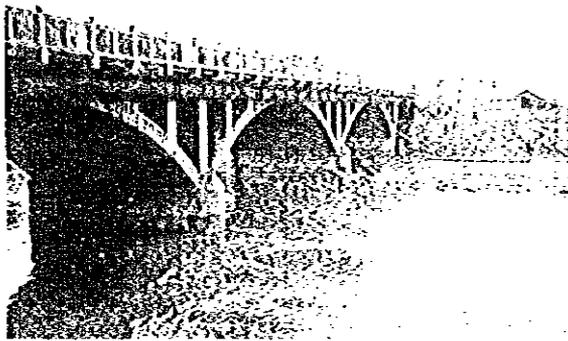
水質自動モニタリングシステム観測局永安大橋府河左岸



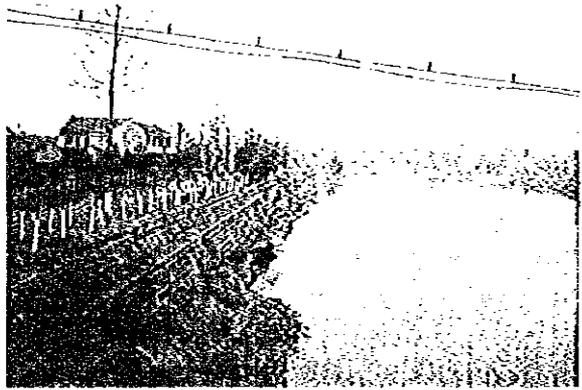
水質自動モニタリングシステム観測局大安街渡口府河左岸



水質自動モニタリングシステム観測局高橋地点府河左岸



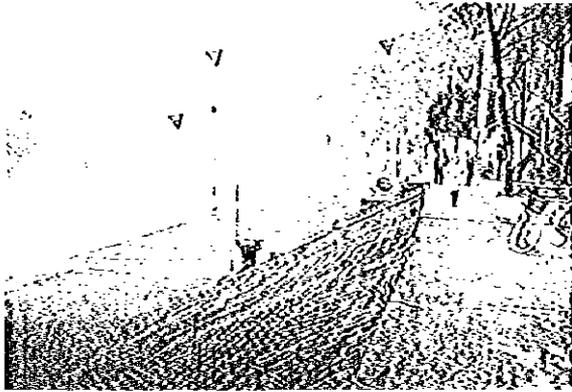
水質自動モニタリングシステム観測局永安大橋府河左岸



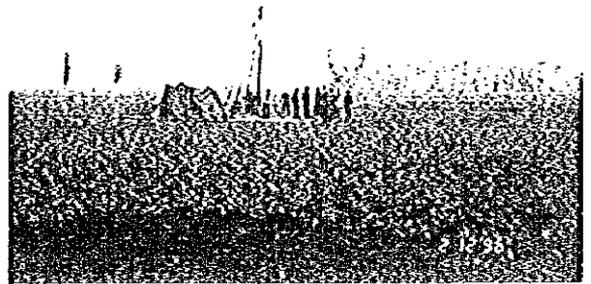
水質自動モニタリングシステム観測局黃龍溪鎮府河右岸

中華人民共和國  
 岷江成都地區水環境綜合管理計畫調查  
 國際協力事業団

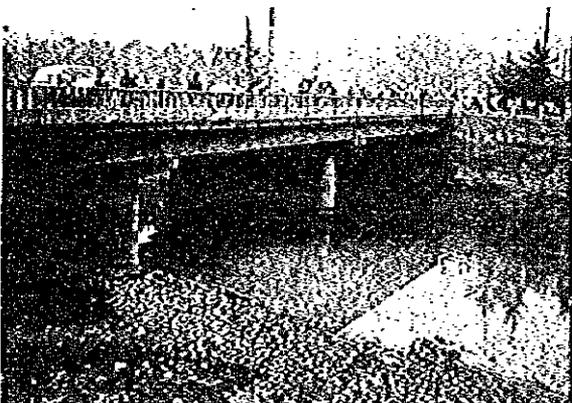
調査現場写真集  
 水質自動モニタリングシステム観測局 (1/2)



水質自動モニタリングシステム観測局都江堰内江左岸



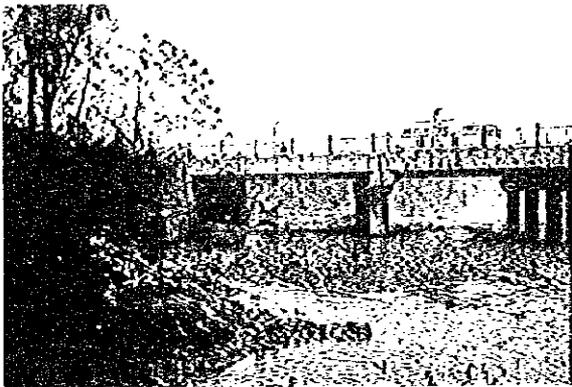
烏龜碑汚水処理場建設予定地地質調査風景



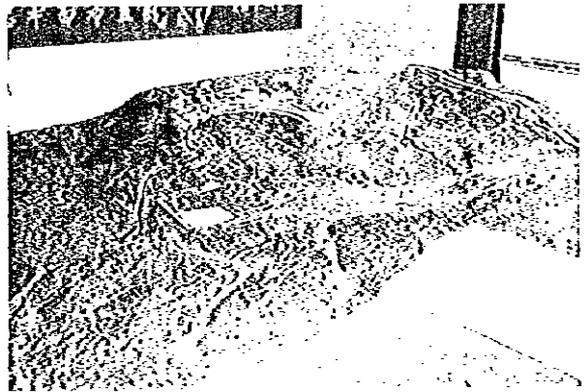
水質自動モニタリングシステム観測局安頂橋南河右岸



烏龜碑汚水処理場建設予定地



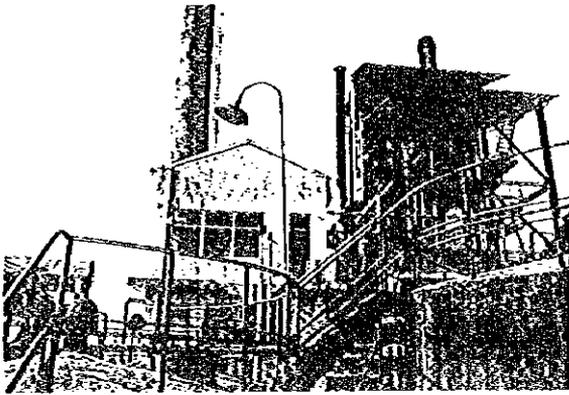
水質自動モニタリングシステム観測局成仁橋沙河右岸



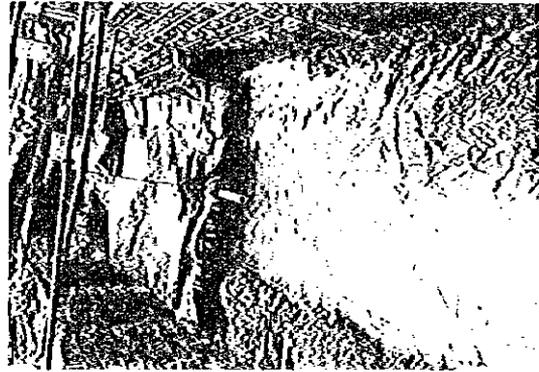
成都市固体廃棄物衛生処理場模型

中華人民共和国  
 岷江成都地区水環境総合管理計画調査  
 国際協力事業団

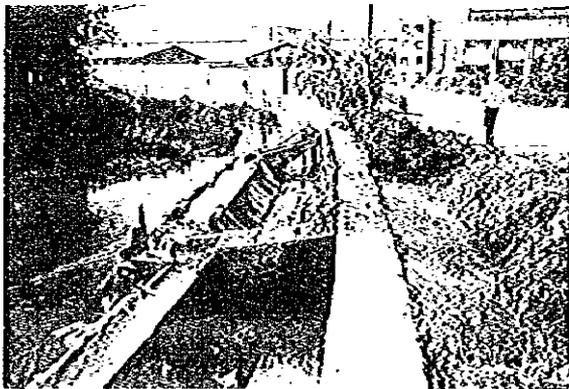
調査現場写真集  
 水質自動モニタリングシステム観測局  
 および烏龜碑汚水処理場建設予定 (2/2)



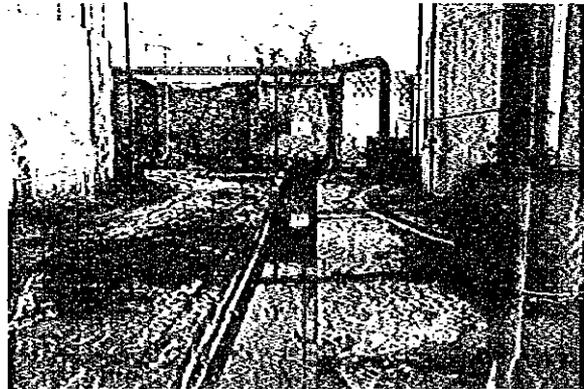
四川省都江堰製紙工場黒液回収（熱戻）装置



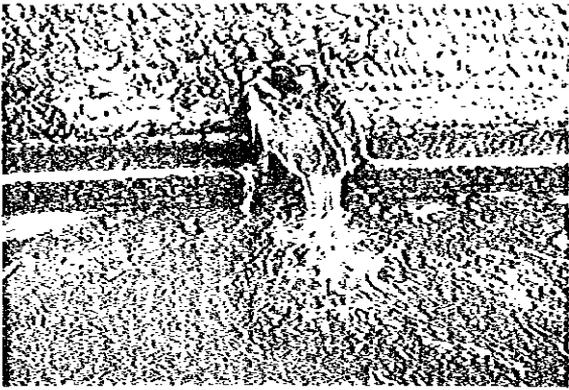
四川省新津県製紙工場排水



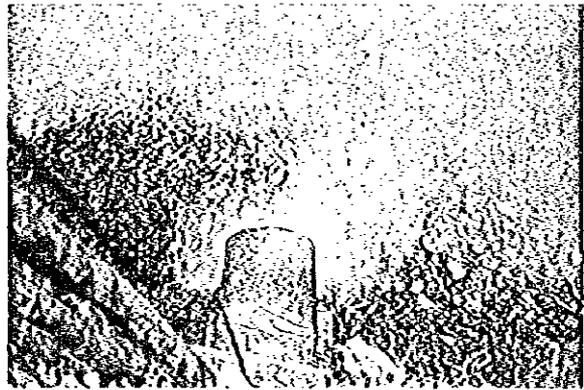
成都製紙工場バルブ場排水状況



温江県愛渠肥料工場排水口



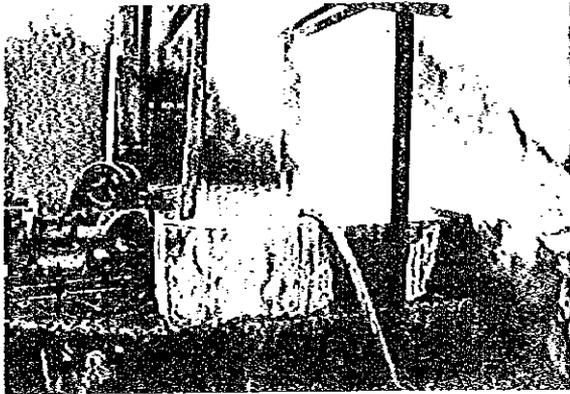
成都市ライシャン段ボール工場排水



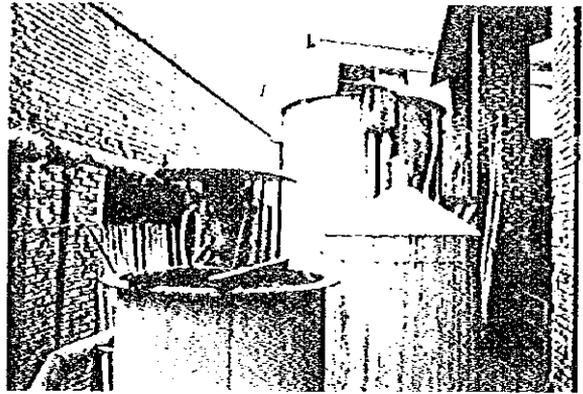
成都化工有限公司排水口

中華人民共和国  
岷江成都地区水環境総合管理計画調査  
国際協力事業団

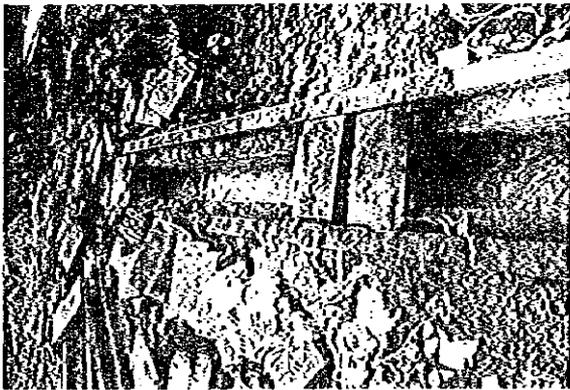
調査現場写真集  
工場排水状況（1/4）



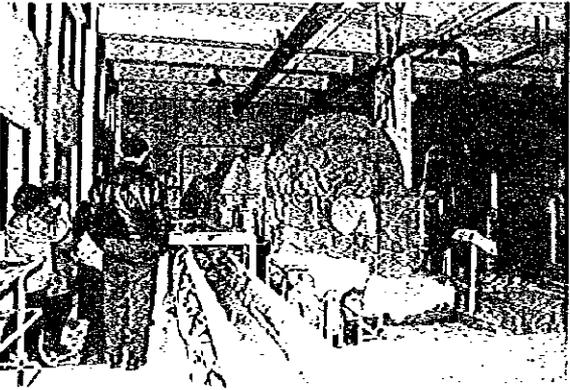
成都第四製薬工場排水



成都三電有限公司油分離施設（現在稼働していない）



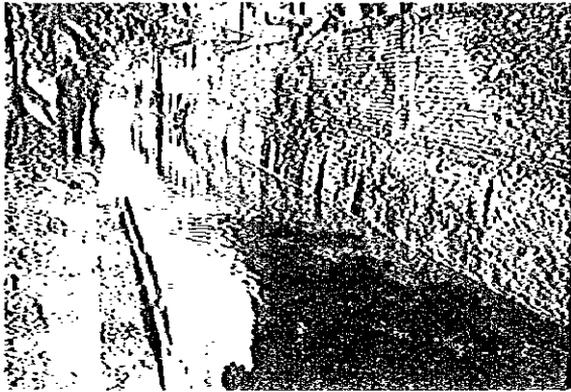
成都化学繊維工場排水溝（現在の処理施設への流入口）



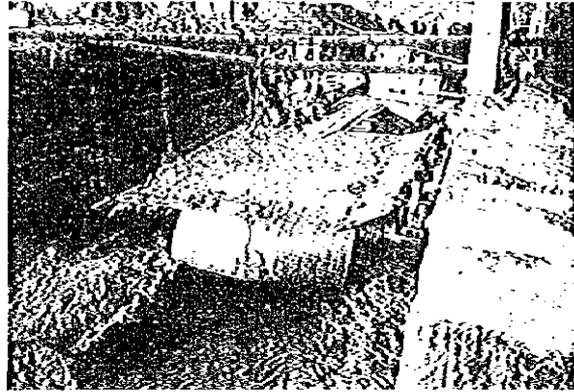
紅光美業有限公司汚泥脱水機

中華人民共和国  
岷江成都地区水環境総合管理計画調査  
国際協力事業団

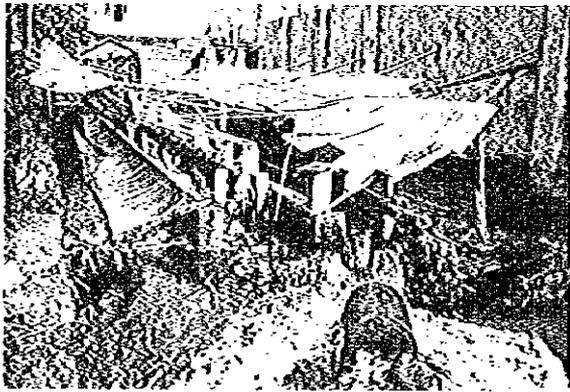
調査現場写真集  
工場排水状況 (2/4)



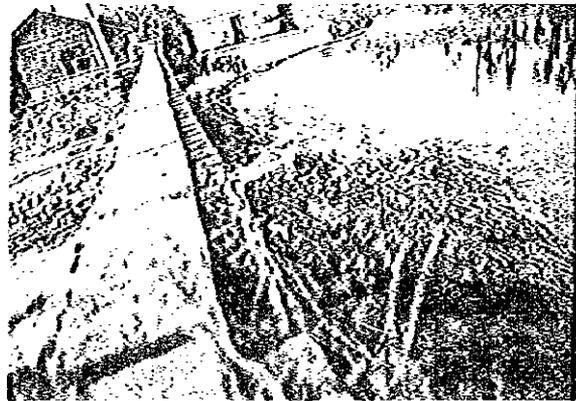
成都市ライシャン段ボール工場排水溝



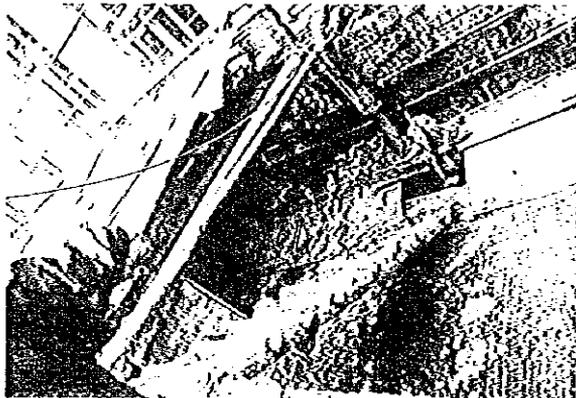
四川省新津県製紙工場排水溝



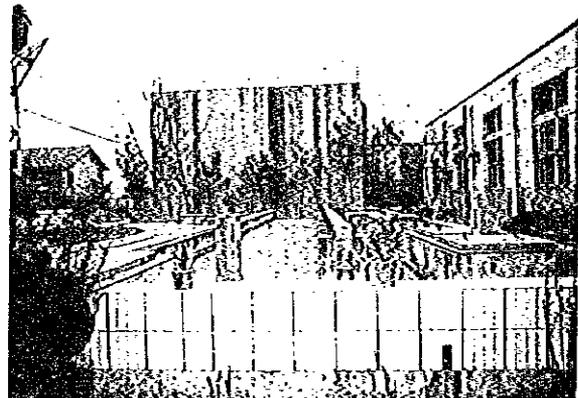
成都市ライシャン段ボール工場放流口スクリーン



温江県窒素肥料工場工場河川放流口



四川省新津県製紙工場排水口スクリーン



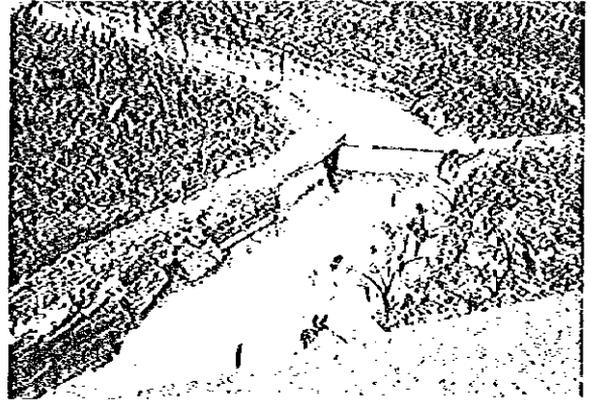
成都化学繊維工場排水処理施設

中華人民共和国  
 岷江成都地区水環境総合管理計画調査  
 国際協力事業団

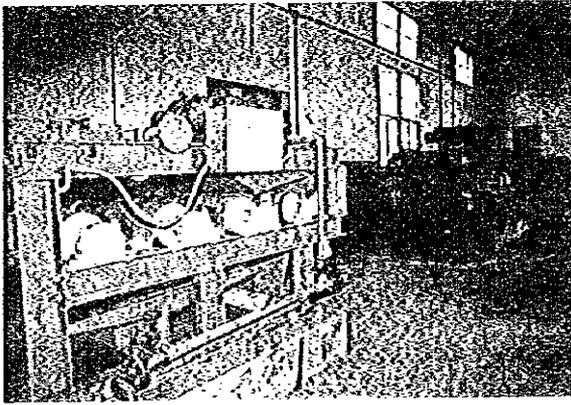
調査現場写真集  
 工場排水状況 (3/4)



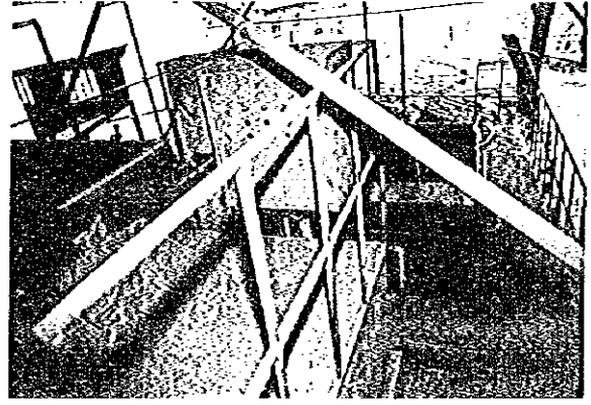
成都化学纖維工場沈殿槽



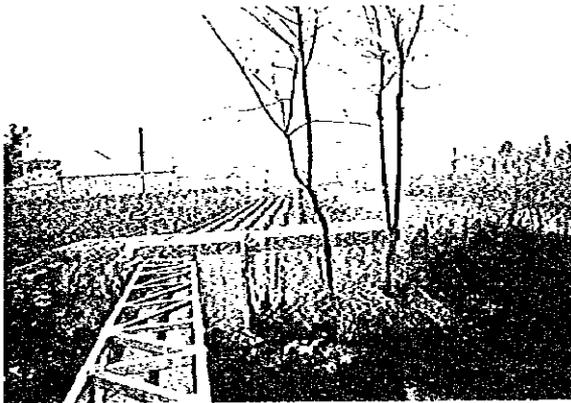
紅光実業有限公司ブラウン管工場排水溝



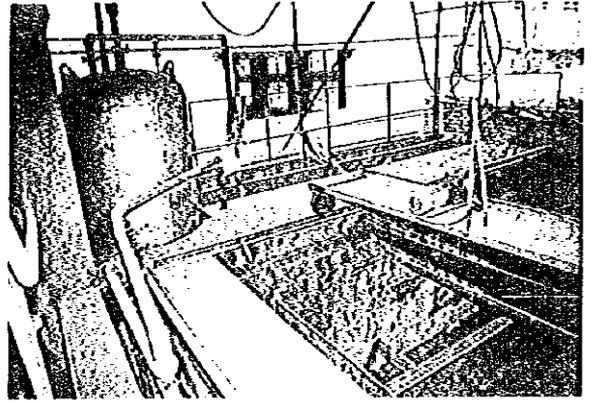
成都化学纖維工場脱水機



三電有限公司既設加圧浮上装置（2年前に停止）



成都化学纖維工場放流口



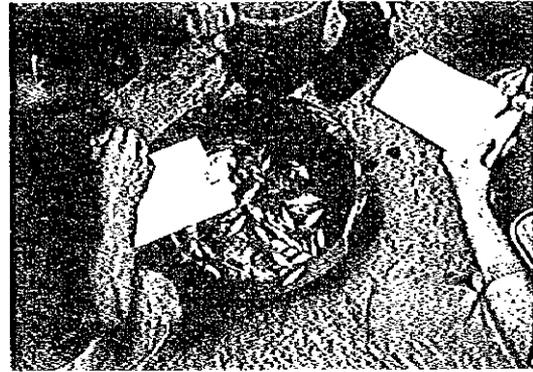
三電有限公司既設加圧浮上装置（2年前に停止）

中華人民共和国  
岷江成都地区水環境総合管理計画調査  
国際協力事業団

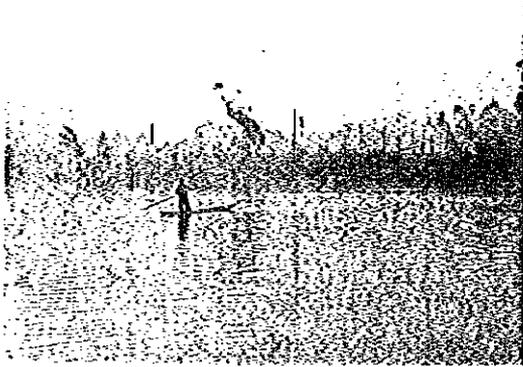
調査現場写真集  
工場排水状況 (4/4)



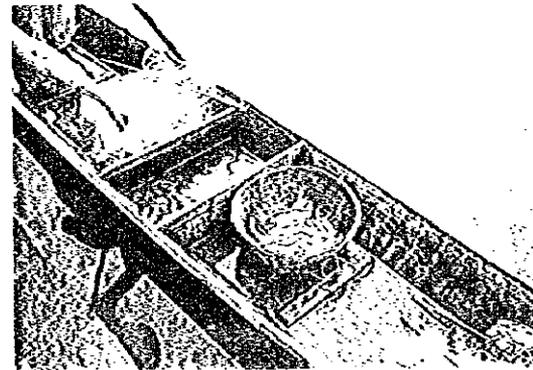
魚捕獲調査（投網）虹口付近



捕獲魚の確認作業状況（黃龍溪鎮付近）



魚捕獲調査（流し網）黃龍溪鎮付近



捕獲魚（黃龍溪鎮）



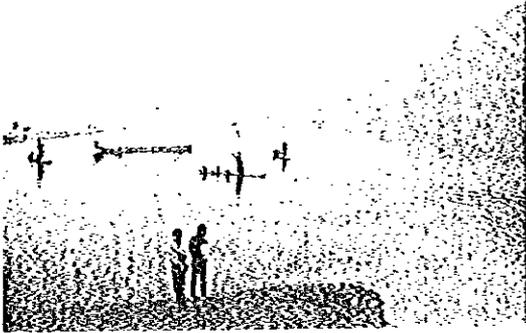
魚捕獲調査（流し網）金華鎮付近



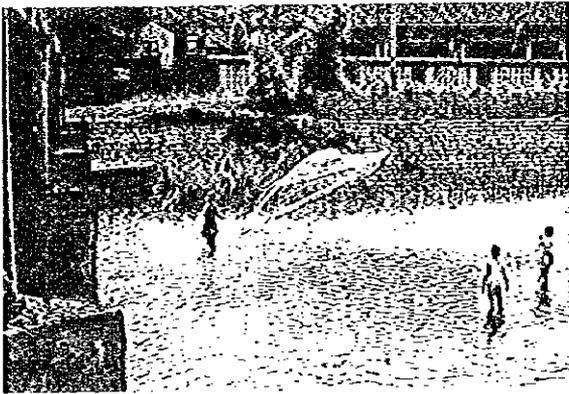
地元漁民の四つ手網（沙河）

中華人民共和国  
 岷江成都地区水環境総合管理計画調査  
 国際協力事業団

調査現場写真集  
 魚類捕獲調査（1/2）



地元漁民の漁獲状況（南河—新津県）



地元漁民の漁獲状況（西河）

中華人民共和国  
岷江成都地区水環境総合管理計画調査  
国際協力事業団

調査現場写真集  
魚類捕獲調査（2/2）

## 第 10 編

# 多自然型護岸試驗施工契約書

中華人民共和國

岷江成都地區水環境綜合管理計畫調查

多自然型護岸試驗施工

契 約 書

1996年11月

# 契約書

## 目次

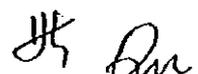
契約	1
立証	1
第1条 定義	2
第2条 業務の内容	2
第3条 業務の履行期限	3
第4条 報酬	3
第5条 支払い	3
第6条 発注者の責任	4
第7条 請負業者の義務	4
第8条 検査と引き渡し	5
第9条 欠陥に対する保証	5
第10条 履行保証金	5
第11条 譲渡と下請契約	5
第12条 不可抗力	6
第13条 適用法律	6
第14条 争議	6
第15条 使用言語と計量システム	6
第16条 契約の有効性	7
第17条 契約の破棄	7
第18条 合意	7
第19条 通告	7
添付-I 契約条件	
添付-II 一般仕様書	
添付-III 技術仕様書	
添付-IV 数量調書	
添付-V 標準設計図面	

## 契 約

本契約は、1996年11月15日 日本国国際事業団中華人民共和国岷江成都地区水環境総合管理計画調査団及び中華人民共和国成都人民政府環境保護局の両者（以下「発注者」という）と中華人民共和国法律に基づき設立され、中華人民共和国北京市に本社を置く中国四海工程公司の下部組織で四川省成都市に本部を置く中国四海工程公司成都工程部（以下「請負業者」という）との間で締結された。

## 立 証

中華人民共和国岷江成都地区水環境総合管理計画調査に係る多自然型護岸試験施工に関する日本国国際協力事業団中華人民共和国岷江成都地区水環境総合管理計画調査団と中華人民共和国成都人民政府環境保護局の合意に基づき、発注者は本試験施工に係る業務の委託を行い、一方、請負業者は本契約に規定されている条件に従ってこれらの業務を遂行するものである。よって、ここに当契約書の相互約定を証明するため、両者は以下の通り合意した。



## 第1条 定義

1.1 当契約における下記の用語は、文脈上異なる意味となる場合を除き、ここに規定した意味を有することとする。

「試験施工」 : 日本国国際協力事業団中華人民共和国岷江成都地区水環境総合管理計画調査団と中華人民共和国成都人民政府環境保護局の合意に基づいて実施する中華人民共和国岷江成都地区水環境総合管理計画調査に係る多自然型護岸の試験施工を意味する。

「発注者」 : 日本国国際協力事業団中華人民共和国岷江成都地区水環境総合管理計画調査団と中華人民共和国成都人民政府環境保護局の二者からなる共同発注者を意味する。

「JICA調査団」 : 日本国国際協力事業団中華人民共和国岷江成都地区水環境総合管理計画調査団を意味し、本試験施工の実施のためJICA調査団より指名された全ての個人を含む。

「環保局」 : 中華人民共和国成都人民政府環境保護局を意味し、本試験施工の実施のため環保局より指名された全ての個人を含む。

「業務」 : 第3条に定める試験施工の施工設計を含む工事に係る業務を意味する。

「請負業者」 : 中国四海工程公司成都工程部を意味する。

「契約図書」 : 当契約書を構成する書類、仕様書および図面を含むものとする。

「両者」 : 発注者と請負業者

## 第2条 業務の内容

2.1 試験施工の対象地区は、成都市に位置する府河下流の望江楼公園地先である。

2.2 業務は試験施工に関する下記の施工設計を含む工事からなる。

(1) 試験施工護岸の建設工事

1) 試験施工区間長 : 府河右岸の望江楼公園地点170m区間(望江橋下流部)

- 2) 低水路護岸 : 法面覆工(空石張り工、蛇籠工、柳枝工)  
根固工(片法枠工、籠工)  
水制工、巨石配置、捨石
- 3) 高水敷部遊歩道 : 石張り工
- 4) 堤防工 : 土堤防(柳枝工、張芝工)、石積み護岸工
- 5) 階段工 : 低水路石張(練り)工、堤防木杭工
- 6) 付帯施設 : 排水工、植栽工(既存樹木の保存または移植を含む)  
既設構造物の撤去

(2) 試験施工護岸の施工設計

- 1) 前記(1)の施工設計
- 2) 河川横断の補足測量と地目調査、並びに既設構造物調査
- 3) その他発注者が必要に応じ指示する設計
- 4) 報告書の作成と提出

- 2.3 請負業者は、発注者の監督下、本契約書、業務仕様書及び標準設計図面及び入札図書に定める契約条件に従って業務を実施しなければならない。

第3条 業務の履行期限

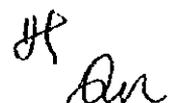
- 3.1 請負業者は、発注者が着手命令書を発行した日から7日以内に業務を開始するものとする。
- 3.2 請負業者は、第2条に規定する業務を契約締結後3カ月以内(90日)に完了させなければならない。

第4条 報酬

業務の契約金額は、円(¥、 )とする。中国元建ての契約金額は、両者で合意した換算レートで算出した中国元(以下「業務請負費」といふ)とする。換算レートの変更は行わない。

第5条 支払い

- 5.1 日本国国際協力事業団による本契約の承認後、発注者は次項5.2に定める支払い期日に従い、中国貨にて遅滞無く支払う。請負業者は、支払いを受けるに際し領収書を発注者に発行しなければならない。

## 5.2 支払い期日

### 5.2.1 前渡金

請負費の40%に相当する金額 中国元（ 日本円）が、日本国国際協力事業団による本契約の承認をもって支払われる。前渡金の請求は、発注者からの着手命令書を添付した文書にて行うものとする。

### 5.2.2 最終支払い

請負費の60%に相当する残金 中国元（ 日本円）は、発注者による業務完了検査の合格をもって支払われる。最終支払いの請求は、業務完了証明書を添付した文書にて行うものとする。

## 第6条 発注者の責任

6.1 発注者は、請負業者に対し円滑な業務遂行が図れるように適切な時期までに以下の手続きまた作業を行うものとする。

6.1.1 河川横断測量作業に当たっての河川敷地立入りの許認可手続きにおける便宜。

6.1.2 工事着手以前における試験施工用地の確保。

6.1.3 工事期間中の臨時工事事務所、資材保管場所のために必要な用地の確保に関する便宜。

6.1.4 必要に応じ、工事のための通行権の確保又は便宜。

6.2 発注者は、業務の実施のためのあらゆる国家当局、公共・市民機関との交渉、手続きにおいて、請負業者に協力するものとする。

## 第7条 請負業者の義務

7.1 請負業者は、契約図書の内容に従って業務を実施するものとする。

7.2 請負業者は、発注者が要求する業務工程表、施工図、工事進捗報告書、その他の技術書類を提出するものとする。

7.3 請負業者は、業務に関する工事、安全の為の注意手段、方法、技術、工期または手順、そして業務工程に対して責任を持つものとする。

7.4 請負業者は、下請業者また代理業者の何人または請負業者の使用人または業務の如何なるものを行う他の人員の全ての行為と手抜きに対して責任を持つものとする。

- 7.5 請負業者は、委託業務の全体の遂行と管理の権限を有する業務主任者を指名すると共に、工事現場において業務を的確に遂行できる能力を有する現場監督者を工事現場に派遣するものとする。
- 7.6 請負業者は、7.5項に定める業務主任者、現場監督者について、業務の開始前に文書にて発注者に通知しなければならない。
- 7.7 請負業者は、契約図書、関連法律、法令規則に従って、自身の責任において、業務の完了納期まで、建設資材、隣接構造物または第三者の損害を予防する対策を講ずるものとする。

#### 第8条 検査と引き渡し

- 8.1 業務の終了に際して、請負業者は発注者の最終検査を依頼する。
- 8.2 業務が発注者の最終検査に合格し、発注者発行の業務完了証明書を得ることにより施設は発注者に引き渡される。
- 8.3 施設の所有権は、引き渡しの規定された期日内に発注者に譲渡される。

#### 第9条 欠陥に対する保証

完成施設の欠陥に対する保証期間は、業務完了証明書の日付から12カ月とする。欠陥の修復について、請負業者は発注者の承認を得た適切な方法にて自らの負担で実施しなければならない。

#### 第10条 履行保証金

履行のための保証金は、当契約の目的と条件に従って、契約調印の日付から業務の完了までの期間中の請負業者の全ての任務の適切なる実施のための保証金であり、額は請負金額の10%とする。履行保証金は、発注者が業務完了証明書の発行後、直ちに返却される。

#### 第11条 譲渡と下請契約

両者共、本契約の権利および義務は本契約の中の他の条項で許されない限り、何人にも譲渡することはできない。

請負業者は、全ての業務または発注者の承認を受けずに業務を第三者の下請契約に出してはならない。

## 第12条 不可抗力

12.1 両者共、通常の状態では制御できない状況下で契約上の義務が果たせなかった場合は、契約の不履行または違反とはみなされない。そのような状況（以下「不可抗力」という）は、次のものが含まれる。

- a) 神の為す事、嵐、地震、洪水または通常の予防準備では防ぐことができない全ての天災
- b) 戦争（宣戦布告の有無に拘わらず）、紛争、侵略、外国敵軍の行為、戦争の恐れまたは準備、暴動、反乱、クーデター、市民戦争、労働紛争または産業紛争、ストライキ、押収、封鎖、労働サボタージュ

### 12.2 金銭上の責任

不可抗力が起きた場合、一方の者が不可抗力が起きた時までに関する報酬の支払い、または他の者がその時まで権利を持っていた支出返却の責任に影響を及ぼすものではない。

### 12.3 通知

不可抗力によって影響を受けた者は、他者に対して、発生した日から7日以内にでき限り早く不可抗力の状況の詳細な報告書を提出しなければならない。

### 12.4 中断または打ち切り

不可抗力が起きた場合、その影響を受けた者は、不可抗力が継続し契約の履行が妨げられる期間中、契約の履行を一時的に中断することができる。このような場合、影響を受けた者はその債務に対する不可抗力の影響を最小限に止める努力をするものとする。このような努力にも拘わらず、累積中断日数が120日を超えても、影響を受けた者が債務の履行を再開することができない時は、両者のいずれも損失無く契約を打ち切る権利を有することとする。

## 第13条 適用法律

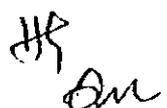
本契約は、日本国の法律が適用される。

## 第14条 争議

本契約は両者の善意に基づいて実施されるべきものであり、契約書の解釈または契約上の義務の履行に関する疑問または不一致が生じた場合は、両者の協議により解決されるものとする。

## 第15条 使用言語と計量システム

15.1 通知、申し出、要求を含む両者間の連絡は中国語で行われる。全ての図面、仕様書、報告書、その他の書類も中国語で作成されるものとする。



15.2 本契約に基づく全ての書類はメートル法と西暦法を用いる。

#### 第16条 契約の有効性

本契約は、日本国国際協力事業団の承認後、直ちに効力を発する。

#### 第17条 契約の破棄

- 17.1 請負業者が第7条に規定する責務を継続して30日以上に渡って遂行しない場合、発注者は請負業者に対して文書で通告を出した日から14日目に本契約を破棄することができる。
- 17.2 発注者が第5条に規定する支払いを継続して30日以上に渡って遅らせた場合は、請負業者は発注者に対して文書で通告を出した日から14日目に本契約を破棄することができる。
- 17.3 17.1項に規定する理由で契約が破棄された場合は、日本国国際協力事業団の承認をもって、破棄された日までに請負業者が実施した業務を基に計算される請負金額に妥当な比率をもって算定した金額を、発注者は請負業者に支払うものとする。

#### 第18条 合意

本契約図書の内容は、各条項に関し両者の合意により定められたもので、契約条件以外の項目に関した合意、交渉、約定はこれを無効とする。

#### 第19条 通告

本契約に関連した発注者と請負業者の間の通告は、書留郵便、ファクシミリによって送られるか、または本契約書に明記されている住所に直接届けるものとする。両者のうち、一方が住所を変更する場合は、他者に対して事前にその旨を通告するものとする。通告の日付は、差出人が郵便局に出した日またはファクシミリを発信した日付とする。

#### 発注者

名称 : 日本国国際協力事業団 中華人民共和国岷江成都地区水環境総合管理計画調査団  
及び中華人民共和国成都人民政府環境保護局

住所 : 中華人民共和国四川省成都市百花東路 環保大樓 (5 F)

電話 : (028) 777-1677

ファクシミリ : (028) 777-1677

請負業者

名 称 : 中国四海工程公司成都工程部

住 所 : 成都市北較場后街38番

電 話 : (028) 668 - 1537

上記に鑑み、本契約の関係両者は、契約に同意したことの証として、夫々の名を付して二部署名し、各一部を保有することとする。

1996年11月15日

発注者

請負業者

佐藤 秀樹

佐藤秀樹

日本国国際協力事業団

中華人民共和国岷江成都地区水環境

総合管理計画調査団長

曲慶生

曲慶生

中国四海工程公司成都工程部

經理 (代表者)

李永祺

李永祺

中華人民共和国成都市人民政府

環境保護局長